

I 学校の沿革

昭和 22 年 4 月	能義郡荒島村立荒島中学校を設置開校 能義郡飯梨村立飯梨中学校を設置開校
34 年 4 月	荒島中学校・飯梨中学校を統合し、安来市立第三中学校を創設
35 年 4 月	校区変更（飯梨川西地区を編入 一中に生徒委託）
36 年 4 月	新校舎竣工 実質統合完了
38 年 3 月	体育館竣工
42 年 8 月	プール竣工
46 年 9 月	体育館増築竣工
46 年 4 月	安来市の同和教育地域指定に伴う同和教育研究推進（2か年）
48 年 4 月	文部省の同和教育研究指定校（2か年）
53 年 7 月	校庭拡張
54 年 4 月	文部省同和教育地域指定研究（2か年）
60 年 2 月	本館校舎改造工事完了
60 年 3 月	増築校舎竣工
60 年 4 月	文部省生徒指導総合推進研究指定校（2か年）
63 年 7 月	前庭インターロッキング舗装工事完了 灯油庫への通路舗装工事完了
平成 元年 6 月	プール改修工事完了
2 年 3 月	体育館屋根改修工事完了
3 年 9 月	校庭整備工事完了
5 年 2 月	コンピュータ教室新築工事完了
6 年 3 月	岸記念賞受賞記念碑建立
10 年 4 月	安来市ボランティア体験モデル推進事業実施校（2か年）
15 年 3 月	体育館新築工事完了
15 年 4 月	文部科学省指定「特別支援教育推進体制モデル事業」指定校（2か年）
18 年 10 月	島根県教育研究大会（安来大会）において研究発表、授業公開
20 年 4 月	文部科学省「人権教育総合推進地域事業」指定校（3か年）
20 年 11 月	創立 50 周年記念式典
22 年 3 月	プール解体工事完了
22 年 10 月	文部科学省「人権教育総合推進地域事業」の研究発表、授業公開、記念講演会を実施
25 年 4 月	平成 25・26 年度島根県教育委員会「学習と評価実践研究事業」指定校（2か年）
26 年 3 月	平成 25・26 年度青少年赤十字研究指定校（2か年）
26 年 11 月	第 43 回全日本中学校バレー選手権大会出場（ベスト 8）記念碑建立
27 年 2 月	島根県教育委員会「学習と評価実践研究事業」研究発表、授業公開
27 年 6 月	青少年赤十字研究指定校 研究発表
8 月	普通教室エアコン設置
11 月	給食配膳室工事完了
28 年 3 月	島根県特別活動研究大会（安来大会）研究発表、授業公開
8 月	駐車場造成工事完了（プール跡地）
29 年 4 月	体育館天井撤去作業完了
30 年 3 月	平成 29・30 年度「明日のしまねを担うキャリア教育推進事業」委託（2か年）
	第 47 回全日本中学校バレー選手権大会出場記念プレート設置

II 校区の概況

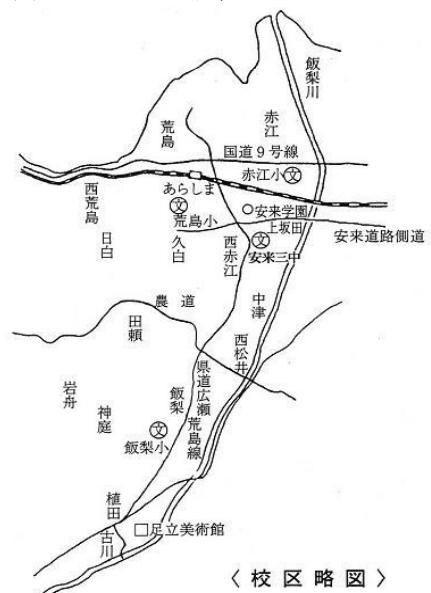
本校は、安来市の西部に位置し、飯梨・荒島・赤江（飯梨川の西部）の旧三村を校区としている。

能義平野の田園地帯にあり、北に中海、南に京羅木山、東に大山が眺望できる風光明媚な地にある。

現在地は古くから宮山と呼ばれてきた丘陵地で、校舎の北側には国の指定史跡宮山古墳がある。四隅突出型墳丘墓・前方後円墳などは、道路向かい側の仲仙寺墳墓群とともに全国でも数少ない貴重な遺跡である。校区内には他に岩舟古墳（飯梨）、造山古墳群（荒島）等がある。校区内は農村地帯であったが、産業・経済活動の発展に伴って兼業農家が多くなってきた。校区内に小規模ながら何か所か新しい住宅団地もできており、住民の移動も多少みられる。

国道 9 号線、安来道路側道、県道広瀬・荒島線の主要地方道路の交通量も年を追って増加している。

校区内世帯数は約 1,900 であり、学校教育に対しては、地域の理解も深く、協力態勢も整っている。



〈校区略図〉